



グローバルレスポンシブルビジネス

－ 安全衛生 －

企業指針「安全・快適に働くことのできる職場環境を提供します」に基づいて、全ての事業活動において心とからだの健康と安全を守ることを最優先に、各国各地域の事情にあわせた安全で健康的な職場環境を提供していきます。

安全衛生

目標

ありたい姿

富士通グループは全ての事業活動において、心とからだの健康と安全を守ることを最優先し、各国各地域の事情にあわせた、安全で健康的な職場環境を提供する。

- 重大な災害発生や質の低い安全衛生管理を許容しない文化を醸成する。
- 全ての事業活動の価値の中心に、心とからだの健康と安全を守ることを据える。
- 予防可能な病気やケガ、業務上の予期せぬ事故などによるビジネス機会の損失をゼロにする。

2022 年度目標

グループ会社を含むすべての職場において、安全で働きやすい環境を実現し、心とからだの健康づくりを推進する。

KPI：・重大な災害発生がゼロである

- ・安全衛生に関するマネジメントレビューをグローバルレベルで年1回実施する

方針

富士通グループでは、「労働安全衛生基本方針」を定め、安全・快適に働く環境の整備と職場風土づくりをグループ一体となって推進し、社員の健康・安全の確保を図っています。

＜富士通グループ 労働安全衛生基本方針＞

社員の健康と安全確保を経営の最重要課題の一つと位置づけ、全ての事業活動において、「心とからだの健康と安全を守る」ことを最優先とする

推進体制・定期レビュー

富士通グループでは、各事業所における「安全衛生委員会」を統括する機能として、人事部門、健康管理部門の担当役員および労働組合の代表者などにより構成される「中央安全衛生委員会」を設置しています。中央安全衛生委員会では、年1回各事業所で発生した災害状況の確認状況および防止策を、経営層および各事業所に報告・情報共有するとともに、労働安全衛生に関する全社的な方針を策定しています。

各事業所の安全衛生組織は、毎月「安全衛生委員会」を開催し、労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針に沿って事業所の特性に適した方針策定と安全・健康な事業所づくりに取り組んでいます。また、職場巡視を行い、危険箇所や健康障害となり得る要因のチェックと改善、リスクアセスメントを実施しています。一部の国内グループ会社では、国際規格の「OHSAS18001」「ISO45001」の認証を取得しています。また、現在、グローバルでの推進体制を構築しています。

安全衛生推進体制



安全衛生の向上への取り組み

富士通グループでは、「労働災害ゼロ」を目指し、安全衛生活動に取り組んでいます。労働災害防止意識の向上を図るため、部門別安全衛生教育や転倒防止のための運動習慣推奨などを実施しています。また、2014 年度より、製造現場の災

害リスク低減のために自主点検および専門スキル保有者による第三者検証を行っています。

労働安全衛生教育

富士通および国内グループ会社では、安全衛生教育や健康への意識を高めるための健康教育を実施しています。また、職場環境に合わせた教育を事業所ごとに実施しています。

感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、グローバルで社員が安全かつ安心して働けるようにテレワーク勤務を基本とする働き方を徹底するほか、対面の会議をオンラインや電話へ切り替え、海外出張、国内遠地出張は原則禁止とするといった取り組みを実施しています。また、どのような環境においても円滑に業務が遂行できるよう、テレワーク勤務に関するガイドラインを作成し提供するとともに、社内業務の見直しや社会的責任の遂行に向けた対策を講じています。一方で、テレワーク勤務の増加に起因した社員の心身の健康面への配慮、加えて学校・保育園の休校・休園や介護施設の閉鎖などに伴う勤務困難となる社員と家族への対応として、時限的措置として次の特別休暇を新設しました。

- ・ 特別休暇：全社員に対して、年次休暇・積立休暇とは別に、10日の特別休暇（賃金100%補償）を付与
- ・ 家族支援休暇：小学生以下の子や介護を必要とする家族の世話により勤務が困難な社員に対して、特別休暇に加え、家族支援休暇（賃金80%補償）を付与

オフィス環境は、出勤率を適正にコントロールするとともにソーシャルディスタンスを考慮した席の配置、アルコール消毒薬の設置、フリーアドレスにおける座席の記録管理などを行い、安全で安心できる職場環境を提供しています。その他、感染症対策に関する相談窓口の設置や感染拡大防止・予防に関する各種情報がわかるよう社員へ周知しています。

海外における取り組みについて

各リージョンのOccupational Health and Safetyグループでは、各国法に則った労働安全衛生に関するコンプライアンスや予防対策を徹底するために、リージョン主導の包括的なアプローチを進めています。

EMEIAリージョンにおいては、2018年度以降、労働災害の予防促進を目的とした労働災害の発生データの収集、活用に注力しており、2019年度にはEMEIAリージョンの横断的なインシデント管理システムの構築をしました。

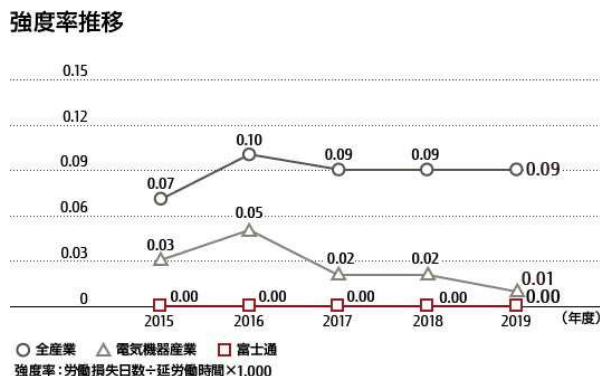
このような具体的な施策を含め、EMEIAリージョンとして目指す中長期的な目標を定め、労働災害を許容しない文化の醸成に向けて、ガバナンスの強化、マネジメントシステムの確立、人材やスキル開発に鋭意取り組んでいます。

今後、グローバルに統一された労働安全衛生の活動にレベルアップしていくため、“グローバルOH & S Committee”を設立し、この活動にドライブをかけていく予定です。なお、その先駆けとして、ILO（国際労働機関）が主催する「労働安全衛生世界デー」の趣旨に賛同し、グローバル横断で広く社員の労働安全衛生に関する啓発活動を進めています。

2019年度実績

労働災害の発生状況（富士通ならびに国内グループ会社）

富士通および国内グループ会社では、安全衛生教育や健康への意識を高めるための健康教育を実施しています。また、職場環境に合わせた教育を事業所ごとに実施しています。



OHSAS18001 取得グループ会社

PFU テクノワイズ株式会社
 Fujitsu Australia Limited

ISO45001 取得グループ会社

FDK 株式会社 (高崎工場・鳥取工場)
 Fujitsu Services Ltd
 Fujitsu Technology Solutions SA

教育訓練の実績

入社者向け安全衛生教育 (約 1,600 名/年) (富士通ならびに国内グループ会社)

- 労働災害防止の基礎知識と、自身の健康管理に役立てるための基本的な事項を習得する

事業所における安全衛生教育 (約 3,300 名/年) (富士通ならびに国内グループ会社)

- 交通安全教育: 事例を含めた講習会による交通事故防止を図る
- 実験室の安全教育: 実験室に関わる法令や実験時の注意事項、化学物質の管理等を習得する